

# 認知症疾患医療センター

## ● スタッフ（平成 29 年 10 月 1 日現在）

センター長 羽生 春夫  
副センター長 井上 猛  
副センター長 櫻井 博文

医師数 専従職員 1 名  
専任職員 2 名  
兼任職員 9 名

## ● 役割

1999 年より高齢診療科の「もの忘れ外来」で認知症の早期診断と治療、在宅認知症患者ケアネットワークを通じた病診連携、介護者教室に取り組んできた。その実績が認められ、H 27 年 9 月に東京都より認知症疾患医療センター（地域連携型）に指定された。

### 【認知症疾患医療センターの役割】

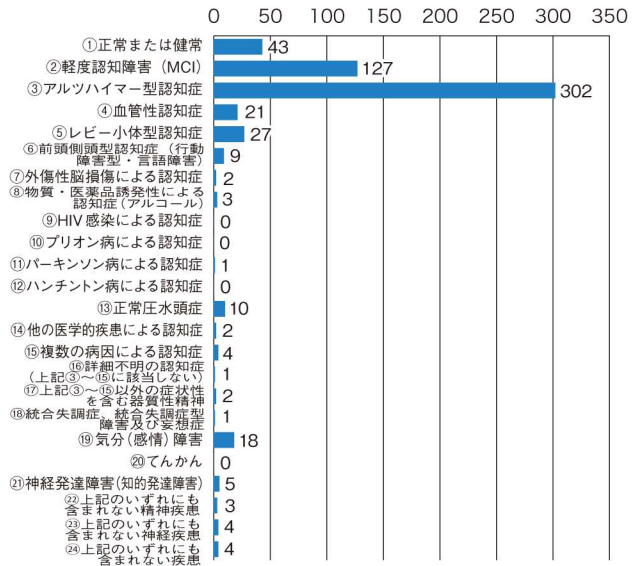
- 1) 認知症の早期診断と治療
- 2) 身体合併症・行動心理症状への対応
- 3) 専門医療相談の実施（専従の相談員を設置）
- 4) 地域連携（かかりつけ医との）の推進
- 5) 地域包括支援センター、医師会との連携
- 6) 認知症に関わる人材育成
- 7) 院内スタッフの育成

## ● 診療と相談実績

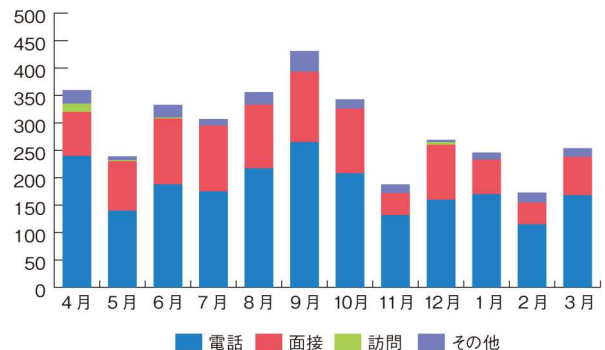
- 1) 初診は、予約なしで受診可能であることが特徴。外来受診は毎月 600 ～ 800 人、初診患者は毎月 70 人前後で、約 70% はかかりつけ医よりの紹介患者。
- 2) 専門医療相談（専従 MSW、専任保健師による相談）は毎月 300 件程度。
- 3) 新宿区や住民対象の研修会への講師派遣、新宿区や東京都等で開催される連携懇話会への参加、東京都認知症疾患医療センター相談員研修の参加（研修会

- の参加、講師派遣等 18 回、地域会議等の参加 7 回)
- 4) 認知症患者の身体疾患や鑑別のため入院は月 10 件前後、メンタルヘルス科の協力による BPSD 治療入院例も数件あり。
  - 5) 介護者教室（1 回／月）、在宅認知症患者ケアネットワーク（1 回／年）を定期的に開催。
  - 6) 認知症ケアチーム（認知症認定看護師、認知症専門医、MSW などの多職種）による回診を入院中の認知症患者に対して開始（H30 年 3 月より）。

### H29.04 ～ H30.03 初診患者の鑑別診断



### H29.04 ～ H30.03 専門医療相談件数



### H29.04 ～ H30.03 専門医療相談の相談者別の内訳

相談者別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
家族・親族	32	69	93	66	98	127	106	42	84	89	49	81
本人	114	26	44	39	41	42	31	16	17	15	14	16
一般病院	52	45	17	24	52	48	49	29	12	52	27	68
精神科病院	5	0	26	17	3	13	10	5	11	0	1	6
認知症サポート医等	0	0	0	0	1	0	0	6	0	5	2	2
かかりつけ医	4	5	3	4	9	27	14	5	6	3	2	3
訪問看護ステーション	1	14	7	5	14	5	1	2	10	0	1	2
区市町村 (高齢者課等)	3	0	7	2	5	2	7	7	4	0	3	12
地域包括支援センター	26	13	21	19	9	11	14	8	11	18	11	10
ケアマネージャー	27	21	27	36	38	41	26	21	36	16	17	6
介護保険施設	14	4	5	10	12	23	6	4	2	2	21	2
保健所・保健センター	0	1	0	3	2	1	0	0	0	2	0	1
家族介護者の会	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0
後見人 (保佐人及び補助人含む)	0	0	2	0	0	0	4	1	0	2	0	0
その他	77	32	80	75	68	89	76	39	72	40	23	43